

第3学年1組 算数科学習指導案

1 単元 重さ（本時7／9＋体育1）

2 本時の目標

- ・チームで協力しながら、どのような道具や手順を踏めば給食のご飯一人分を量ることができるのかを考えることができる。 （思考・判断・表現）

3 展開

段階	児童の活動	教師の支援
<p>導入 (5)</p> <p>課題 把握 (1)</p> <p>展開 (24)</p> <p>整理 (10)</p>	<p>1 子犬の重さを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じっとしていないから、はかりで量るのは難しいね。 ・子犬を抱えて量ったら、みさきさんと子犬の重さになるね。 ・ひき算をすればいいんじゃないかな。 <p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 給食のごはん一人分の量を求める方法を考えよう </div> <p>3 ごはんがどのような形で運ばれてくるのかを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんはいつも箱に入って運ばれてくるよね。 ・ごはんの箱だけでもかなり重いよね。 ・ごはんのふたもあるよね。 ・ごはんは、箱とふた、お米があるね。 <p>4 ごはん一人分を求める式を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、ごはん全体の重さを求めないとイケないね。 ・子犬の問題みたいに、全体からひき算すればいいのかな。 ・最後にクラスの数で割らなきゃいけないね。 <p>5 量らなければいけない物や、必要な道具を決める。</p> <p>○ごはん全体の量を量る</p> <p>○どのはかりを使うのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の量感を頼りに、適切なはかりを決める。 <p>○箱を量ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんがあると量れないので、量るタイミングを考える。 <p>○ふたの重さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふたは外しておけば式に入れなくてもよい。 <p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはん以外の給食もやってみたい ・家で食べるご飯の量も調べてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P125 の「子犬の重さは？」のコラムを用い、みさきさんの重さを全体からひき算すればよいことを示唆する。 ・黒板に子犬のイラストを貼り、視覚的に分かりやすいようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・発問「給食のご飯の重さを求めるにはどうすればいいかな」 ・「いつも給食ではどんな形でごはんが運ばれてくるのかな」と問う。 ・給食のごはんは、どのような入れ物で運ばれてくるのかを絵や図を用いてまとめるよう指示を出す。 ・困っているチームには、子犬を求めた時の方法を思い出さすよう伝える。 ・自分の考えを、絵や図で表現してもよいことを伝える。④ ・話し合いの結果や、生活経験をもとに、<u>どのがよいのか、計算式に改良を加えながら考えるよう促す。⑤</u> ・チームで考えた方法をまとめ、黒板に貼り付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・発問「どんな時にいままでに学んだ事が使えるのかな」 ・今日学んだことを生かそうとしている児童を指名し称賛する。

4 評価

- ・チームで試行錯誤しながら、一人分のご飯の量を求める式を考えることができたか。 （活動4の発言から）